



学生の署名活動 映画に

政府に核兵器禁止条約の批准を求める全国の高校生の活動をまとめたドキュメンタリー映画「声をあげる」

高校生たち「核兵器禁止条約に署名・批准を」が完成し、披露試写会が東京都内で開かれた。沖縄と広島も

オンラインで結び、沖縄からは映画に登場する「沖縄高校生平和ゼミナール」の上原一路さん(17)、吉良結花さん(17)、高井樂々さん(17)が発言した。

映画は、2021年7月から始まつた「高校生平和ゼミナール」による署名活動のほか、22年8月に外務省に1万3千筆を提出した様子をまとめた。上原さんたちが県庁前で通行人に声をかける場面もある。

映画を見た吉良さんは「全国の高校生が核兵器をなくすという一つの目標に向かって活動する姿に感動した。映画を多くの人に見てもらい、平和について一緒に考えていただきたい」と話した。

上原さんは「批判も励ましの声もたくさんあつた」と署名活動を振り返り、「沖縄に核兵器があつた事実も積極的に伝えていきたい」と誓った。沖縄と広島で署名活動に参加した高井さんは「初めは不安もあつたが、平和について考え行動する県内外の高校生がいて心強かつた。沖縄からもっと声を上げていく」と訴えた。

東京、沖縄、広島の3会場で計134人が集まつた。映画のDVDは2千円で、3月発売予定。問い合わせは「高校生平和ゼミナール」の沖村民雄さん、電話090(4819)2932。(社会部・玉那覇長輝)

ドキュメンタリー 東京で試写会

映画を見る上原一路さん(右)、吉良結花さん(中央)、高井樂々さん(23日、那覇市・沖教組那覇支部)